

科目名称：	医療保険演習	
担当者名：	石堂みゆき、松浦美春	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
医療事務について学修した内容を復習しながら、集大成の学修として位置付け、診療報酬明細書の点検が正確かつスピーディに行なえる知識を身に付けます。また、時間計測しながら練習問題を繰り返しこなし、的確に処理出来る技能者として、技能審査試験に合格できるレベルに到達出来るよう学修を進めます。		
授業の達成目標・到達目標		
医療事務技能審査試験合格率100%になる様に創意工夫しながら、学生が興味を持って自ら学修する意欲を引き出せるような演習にします。医療事務技能審査試験の診療報酬分野の修得を目標とします。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		70	20	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》医療事務点検業務・受付 (石堂みゆき)	《経験年数1》12年
	《内容2》医療事務点検業務・受付 (松浦美春)	《経験年数2》11年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
明細書の作成	明細書の記載要領を理解し、正しく作成することができる。	明細書の記載要領を理解し、指示に従って正しく作成することができる。	明細書の記載要領を理解し、指示通り作成することができる。	明細書の記載要領を理解できない。
明細書の点検	カルテとレセプトの照合をし、正しく内容の訂正ができる。	カルテとレセプトの照合をし、指示に従って正しく内容の訂正ができる。	カルテとレセプトの照合をし、指示通り内容の訂正ができる。	カルテとレセプトの照合ができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 【点検1】 明細書点検（カルテ1・2）を行う	テキスト4のカルテ1・2の復習を行うこと	30分
第2回 【点検2】 明細書点検（カルテ3・4）を行う	テキスト4のカルテ3・4の復習を行うこと	30分
第3回 【点検3】 明細書点検（カルテ5・6）を行う	テキスト4のカルテ5・6の復習を行うこと	30分
第4回 【点検4】 明細書点検（カルテ7・8）を行う	テキスト4のカルテ7・8の復習を行うこと	30分
第5回 【点検5】 明細書点検（カルテ9・10）を行う	テキスト4のカルテ9・10の復習を行うこと	30分
第6回 【点検6】 明細書点検方法についてグループワークを行う。	テキスト4のカルテ症例の復習を行うこと	30分
第7回 【点検7】 受験対策問題集の実技問題（A）の明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集の実技問題（A）の復習を行うこと	30分
第8回 【点検8】 受験対策問題集の実技問題（B）の明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集の実技問題（B）の復習を行うこと	30分
第9回 【点検9】 受験対策問題集の実技問題（C）の明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集の実技問題（C）の復習を行うこと	30分
第10回 【点検10】 受験対策問題集の実技問題（D）の明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集の実技問題（D）の復習を行うこと	30分
第11回 【点検11】 受験対策問題集の実技問題（E）の明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集の実技問題（E）の復習を行うこと	30分
第12回 【修了試験】 修了試験問題の実施。	受験対策問題集の学科問題（B）をすること	30分
第13回 【点検12】 模擬問題の実施。	受験対策問題集の学科問題（C）をすること	30分
第14回 【点検13】 模擬問題の実施。	受験対策問題集の学科問題（D）をすること	30分
第15回 【点検14】 模擬問題の実施。	受験対策問題集の学科問題（E）をすること	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリント・基礎ドリル・受験対策問題集を行い授業の内容理解をしていくことになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト70%、提出課題20%、授業への貢献、授業への積極的関与1

課題に対してのフィードバック

授業中使用プリント、課題は評価し返却する。基礎ドリル・受験対策問題集は、復習状況確認後返却する。

教科書・参考書

教科書：テキスト：医療保険制度のしくみ、診療報酬の算定ルール、レセプト点検、医療現場での接遇マナー/スタディブック、ハンドブック、医科診療報酬点数表、点数早見表 著者：㈱ニチイ学館 発行：㈱ニチイ学館（医科診療報酬点数表は発行：㈱社会保険研究所）
テキストより、レセプト点検要領を理解し内容の訂正を行う。試験に備えて模擬問題・プリントを実施する。
参考書：問題集（しっかりわかる基礎ドリル、受験対策問題集）